

技術と時間

3

映画の時間と〈難-存在〉の問題

『技術と時間』シリーズ待望の最新刊!! // 法政大学出版局



技術と時間3

映画の時間と〈難-存在〉の問題

著者——ベルナル・スティグレール
 監修者——石田英敬 | 訳者——西兼志
 判型——四六判 / 414 ページ / 上製
 定価——本体 4000 円 + 税
 ISBN——978-4-588-12074-9 C3010
 刊行——2013年3月27日
 ハイパー産業化により意識と時間概念が管理されるコントロール社会では、人々は「誰も」個体として存在できず、誰もが〈誰でもない者〉となり、〈生き難さを生きる〉ことしかできない。カントの批判哲学とフッサールの現象学を根源的に問い直し、既存の文化産業批判論を刷新して展開する斬新なメディア批判理論。ポスト構造主義の次世代を担う哲学者の主著シリーズ。待望の最新刊。////////////////////////////////////

著者紹介 //

B.スティグレール

1952年生まれ。国際哲学コレージュ (Collège international de philosophie) のプログラム・ディレクター、コンピエーニュ工科大学教授を務めたのち、フランス国立図書館、国立視聴覚研究所 (INA) 副所長、音響・音楽研究所 (IRCAM) 所長、ボンビドゥー・センターの文化開発部長を歴任。現在、リサーチ&イノベーション研究所 (IRI) 所長。文化資源のIT化国家プロジェクトの中核を担い、技術と人間との関係を根源的に問う、ポスト構造主義以後の代表的哲学者。本書『技術と時間』(現在第3巻まで刊行) は Opus Magnum (主著) とされる、『テレビのエコグラフィ』(デリダとの共著, NTT出版), 『象徴の貧困1』『愛するということ』『現勢化』『偶有からの哲学』(以上、新評論) など、邦訳書も多数ある。

好評既刊書 //

技術と時間1

エピメテウスの過失
 四六判 / 446ページ / 上製
 定価：本体4200円+税
 ISBN978-4-588-12072-5 C3010
 2009年07月 刊行
 従来、哲学は形而上学のみを学問として技術の問題は下位においてきた。しかし、著者は技術を抜きに人間や文明は存在しないと、哲学の限界と行方を追う。資本主義は情報・メディア産業を通して人間の精神にいかなる影響を与えたのか。IT革命以後、人と技術のかかわりについて哲学の関心は高まり、スティグレールの技術哲学も注目を浴びている。

技術と時間2

方向喪失
 四六判 / 412ページ / 上製
 定価：本体4000円+税
 ISBN978-4-588-12073-2 C3010
 2010年07月 刊行
 現代を方向喪失の時代ととらえ、西洋がそれを失っていく系譜を考察する。技術は記憶を支援すべくその外部から訪れるものではなく、技術それ自体が記憶であると主張し、記憶の産業化を問う。産業化は、記憶されるべき出来事とそうでないものを選択する。つまり、産業化時代の科学技術は存在を事実確認的に記述するのではなく、その可能性を行為遂行的に決定するのだ。////////////////////////////////////

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-24 法政大学出版局 TEL 03-5214-5540 / FAX 03-5214-5542

注 文 書	技術と時間 1	ISBN978-4-588-12072-5 定価4410円(本体4200円+税)	(冊)	書店名・ 番線
	技術と時間 2	ISBN978-4-588-12073-2 定価4200円(本体4000円+税)	(冊)	
	技術と時間 3	ISBN978-4-588-12074-9 定価4200円(本体4000円+税)	(冊)	
お名前： _____		☎ _____		
ご住所： 〒 _____				